CHAPTER 14

ボイスメール ポートのセキュリティ設定

この章は、次の内容で構成されています。

ボイスメールのセキュリティの概要

Cisco Unified Communications Manager ボイスメール ポートおよび SCCP を実行する Cisco Unity デバイスまたは SCCP を実行する Cisco Unity Connection デバイスにセキュリティを設定するには、ポートに対してセキュアなデバイス セキュリティ モードを選択します。認証済みのボイスメール ポートを選択すると、TLS 接続が開始されます。この接続では、相互証明書交換（各デバイスが相手のデバイスの証明書を受け入れる）を使用して、デバイスが認証されます。暗号化済みのボイスメール ポートを選択すると、システムはまずデバイスを認証してから、デバイス間で暗号化されたボイス ストリームを送信します。

- Cisco Unity または Cisco Unity Connection 1.2 以前で、デバイス セキュリティ モードが認証済みまたは暗号化済みになっている場合、Cisco Unity Unified CM TSP は、TLS ポートを介して Cisco Unified Communications Manager に接続します。デバイス セキュリティ モードが非セキュアになっている場合、Cisco Unity Unified CM TSP は、SCCP ポートを介して Cisco Unified Communications Manager に接続します。
- Cisco Unity Connection 2.0 以降では、TLS ポートを介して Cisco Unified Communications Manager に接続します。デバイス セキュリティ モードが非セキュアになっている場合、Cisco Unity Connection は、SCCP ポートを介して Cisco Unified Communications Manager に接続します。

（注） この章では、「サーバ」という用語は Cisco Unified Communications Manager サーバを意味します。「ボイスメール サーバ」という用語は Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Connection サーバを意味します。

ボイスメール セキュリティの設定のヒント

セキュリティを設定する前に、次の点を考慮してください。

- Cisco Unity 4.0(5) 以降とこのバージョンの Cisco Unified Communications Manager を実行する必要があります。
- Cisco Unity Connection 1.2 以降とこのバージョンの Cisco Unified Communications Manager を実行する必要があります。
- Cisco Unity の場合、Cisco Unity Telephony Integration Manager（UTIM）を使用してセキュリティ タスクを実行する必要があります。Cisco Unity Connection の場合、Cisco Unity Connection の管理を使用してセキュリティ タスクを実行する必要があります。これらのタスクの実行方法については、Cisco Unity または Cisco Unity Connection 用の、該当する Cisco Unified Communications Manager インテグレーション ガイドを参照してください。
- この章で説明する手順に加えて、Cisco Unified Communications オペレーティング システムの証明書管理機能を使用して、Cisco Unity 証明書を信頼ストアに保存する必要があります。この作業の実行の詳細については、『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』を参照してください。

  証明書をコピーした後、クラスタ内の各 Cisco Unified Communications Manager サーバで Cisco CallManager サービスを再起動する必要があります。
- Cisco Unity 証明書が失効したか、または何らかの理由で変更された場合は、Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理の証明書管理機能を使用して、信頼ストアの証明書を更新します。証明書が一致しないと TLS 認証は失敗し、ボイスメールは Cisco Unified Communications Manager に登録できないため機能しません。
- ボイスメール サーバのポートを設定する場合は、デバイス セキュリティ モードを選択する必要があります。
- Cisco Unity Telephony Integration Manager（UTIM）または Cisco Unity Connection の管理で指定する設定は、Cisco Unified Communications Manager の管理で設定されているボイスメール ポートのデバイス セキュリティ モードと一致している必要があります。Cisco Unity Connection の管理の [ボイスメールポートの設定 (Voice Mail Port Configuration)] ウィンドウ（または ボイスメール ポート ウィザード）で、ボイスメール ポートにデバイス セキュリティ モードを適用します。

ヒント デバイス セキュリティ モードの設定が一致しない場合は、ボイスメール サーバのポートが Cisco Unified Communications Manager に登録できず、ボイスメール サーバはそれらのポートでコールを受け入れることができません。

- ポートのセキュリティ プロファイルを変更するには、Cisco Unified Communications Manager デバイスをリセットしてボイスメール サーバ ソフトウェアを再起動する必要があります。Cisco Unified Communications Manager の管理で、以前のプロファイルと異なるデバイス セキュリティ モードを使用するセキュリティ プロファイルを適用する場合は、ボイスメール サーバの設定を変更する必要があります。
- ボイスメール ポート ウィザードで既存のボイスメール サーバのデバイス セキュリティ モードを変更することはできません。既存のボイスメール サーバにポートを追加すると、現在プロファイルに設定されているデバイス セキュリティ モードが自動的に新規ポートに適用されます。

ボイスメール ポートのセキュリティ設定用チェックリスト

ボイスメール ポートのセキュリティを設定するときには、表 14-1 を参照してください。

表 14-1　ボイスメール ポートのセキュリティ設定用チェックリスト

設定手順		関連手順および関連項目
ステップ 1	Cisco CTL クライアントを混合モードでインストールして設定したことを確認します。	「Cisco CTL クライアントの設定」（P.4-1）
ステップ 2	電話機に認証または暗号化を設定したことを確認します。	「電話機のセキュリティの概要」（P.6-1） 「電話機セキュリティ プロファイルの設定」（P.7-1）
ステップ 3	Cisco Unified Communications オペレーティング システムの管理の証明書管理機能を使用して、Cisco Unified Communications Manager サーバの信頼ストアに Cisco Unity 証明書をコピーします。次に、Cisco CallManager サービスを再起動します。 **ヒント** クラスタにある各 Cisco Unified Communications Manager サーバの Cisco CTL Provider サービスをアクティブにします。次に、すべてのサーバで Cisco CallManager サービスを再起動します。	• 「ボイスメール セキュリティの設定のヒント」（P.14-2） • 『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』 • 『*Cisco Unified Serviceability Administration Guide*』
ステップ 4	Cisco Unified Communications Manager の管理で、ボイスメール ポートのデバイス セキュリティ モードを設定します。	• 「単一ボイスメール ポートへのセキュリティ プロファイルの適用」（P.14-4） • 「ボイスメール ポート ウィザードでのセキュリティプロファイルの適用」（P.14-4）
ステップ 5	Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメール ポートのセキュリティ関連設定タスクを実行します。たとえば、Cisco Unity が Cisco TFTP サーバを指すように設定します。	Cisco Unity または Cisco Unity Connection 用の Cisco Unified Communications Manager インテグレーション ガイド
ステップ 6	Cisco Unified Communications Manager の管理でデバイスをリセットし、Cisco Unity ソフトウェアを再起動します。	• Cisco Unity または Cisco Unity Connection 用の Cisco Unified Communications Manager インテグレーション ガイド • 「単一ボイスメール ポートへのセキュリティ プロファイルの適用」（P.14-4）

単一ボイスメール ポートへのセキュリティ プロファイルの適用

単一のボイスメール ポートにセキュリティ プロファイルを適用するには、次の手順を実行します。

この手順では、デバイスはデータベースに追加済みで、証明書が存在しない場合は証明書が電話機にインストール済みであることを前提としています。セキュリティ プロファイルを初めて適用した後、またはセキュリティ プロファイルを変更した場合、デバイスをリセットする必要があります。

セキュリティ プロファイルを適用する前に、次の項を検討してください。

- 「ボイスメールのセキュリティの概要」（P.14-1）
- 「ボイスメール セキュリティの設定のヒント」（P.14-2）
- 「ボイスメール ポートのセキュリティ設定用チェックリスト」（P.14-3）

手順

ステップ 1　『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の説明に従って、ボイスメール ポートを検索します。

ステップ 2　ポートの設定ウィンドウが表示されたら、[デバイスセキュリティモード(Device Security Mode)] 設定を見つけます。ドロップダウン リスト ボックスから、ポートに適用するセキュリティ モードを選択します。このオプションは、データベースで事前定義されています。デフォルト値は [-- 選択されていません --] です。

ステップ 3　[保存(Save)] をクリックします。

ステップ 4　[リセット(Reset)] をクリックします。

追加情報

「関連項目」（P.14-5）を参照してください。

ボイスメール ポート ウィザードでのセキュリティ プロファイルの適用

既存のボイスメール サーバのセキュリティ設定を変更する方法は、「単一ボイスメール ポートへのセキュリティ プロファイルの適用」（P.14-4）を参照してください。

セキュリティ プロファイルを適用する前に、次の項を検討してください。

- 「ボイスメールのセキュリティの概要」（P.14-1）
- 「ボイスメール セキュリティの設定のヒント」（P.14-2）
- 「ボイスメール ポートのセキュリティ設定用チェックリスト」（P.14-3）

ボイスメール ポート ウィザードで新規ボイスメール サーバにデバイス セキュリティ モードの設定を適用するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1　Cisco Unified Communications Manager の管理で、[ボイスメール(Voice Mail)] > [Cisco ボイスメール ポート ウィザード(Cisco Voice Mail Port Wizard)] を選択します。

ステップ 2　ボイスメール サーバの名前を入力し、[次へ(Next)] をクリックします。

ステップ 3　追加するポートの数を選択して、[次へ(Next)] をクリックします。

ステップ 4　[Cisco ボイスメールデバイス情報(Cisco Voice Mail Device Information)] ウィンドウで、ドロップダウン リスト ボックスからデバイス セキュリティ モードを選択します。このオプションは、データベースで事前定義されています。デフォルト値は [-- 選択されていません --] です。

ステップ 5　『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の説明に従って、その他のデバイス設定を実行します。[次へ(Next)] をクリックします。

ステップ 6　『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』の説明に従って、設定プロセスを続行します。要約ウィンドウが表示されたら、[終了(Finish)] をクリックします。

追加情報

「関連項目」（P.14-5）を参照してください。

参考情報

関連項目

- 「システム要件」（P.1-5）
- 「相互作用および制限」（P.1-7）
- 「証明書」（P.1-15）
- 「設定用チェックリストの概要」（P.1-26）
- 「ボイスメールのセキュリティの概要」（P.14-1）
- 「ボイスメール セキュリティの設定のヒント」（P.14-2）
- 「単一ボイスメール ポートへのセキュリティ プロファイルの適用」（P.14-4）
- 「ボイスメール ポート ウィザードでのセキュリティプロファイルの適用」（P.14-4）

シスコの関連マニュアル

- 今回の Cisco Unified Communications Manager リリースに対応した Cisco Unity または Cisco Unity Connection 用の『*Cisco Unified Communications Manager Integration Guide*』
- 『*Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide*』